

令和5年度の主な取組事例

広島県東部建設事務所管内

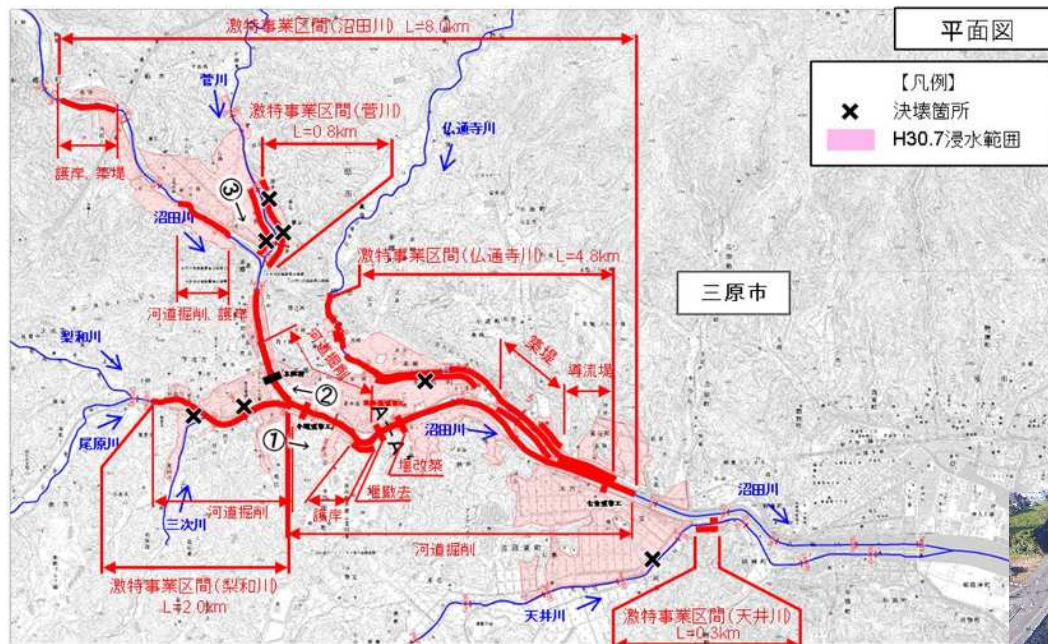
1. 広島県の取組状況

(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

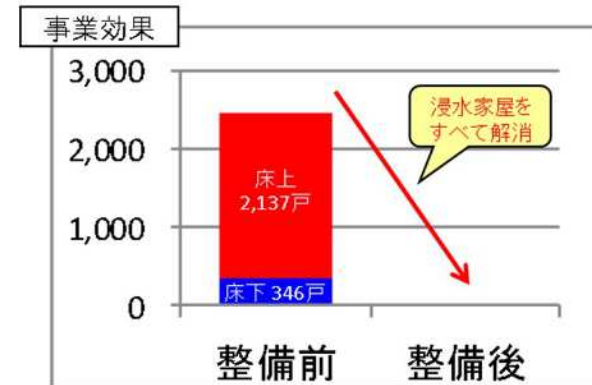
① 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

平成30年7月豪雨により甚大な浸水被害のあった沼田川及び支川において河川激甚災害対策特別緊急事業が完了しました。

○ このたび、沼田川及び支川における河川激甚災害対策特別緊急事業が完了し、平成30年7月豪雨相当の洪水に対し、家屋浸水被害を解消しました。



▲事業位置図



▲事業効果



(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるように、全ての市町を対象に、「**まるごとまちごとハザードマップ**」に取り組んでおり、**令和5年度は4市町の市町役場や小・中学校、公民館などの公共施設へ標識を設置**しました。引き続き、市町と連携しながら、標識の設置を進めます。

(設置例)府中公民館



(令和5年度の設置状況)

市町	設置数
竹原市	10
尾道市	12
東広島市	5
府中町	5
合計	32

(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

水害ハザードマップの周知

洪水ポータルひろしま

観測所状況

XRAIN

雨量メッシュ情報と観測所情報の重ね合せ

- 地理情報システム（Web-GIS）に各種情報を表示しています。水系・河川ごとに「浸水想定区域図」や「浸水継続時間」、「家屋倒壊等」の図面を公表しています。

防災情報の周知

- SNSを通じて防災情報を発信し、県民に向けた防災意識の更なる波及効果を図ります。



広島県防災 @HiroshimaBousai

【広島市南区、江田島市に土砂災害警戒情報発表】

崖の近くや谷の出口など、土砂災害の発生しやすい地区（土砂災害警戒区域等）にお住いの方は、市町から発令される避難情報に留意し、安全な場所への速やかな避難を心掛けてください。

**広島市南区、江田島市
土砂災害警戒情報**

2023年07月09日 0:16 · 2.2万表示

避難行動等の周知

- 災害から命を守るために必要な行動の習得を通じ、災害時の「死者ゼロ」を目指すとともに、未来の防災リーダーの育成を目標として、出前講座を開催しました。

（防災出前講座実施件数）

年度	小学校	中学校等	合計
R2	5校	1校	6校
R3	12校	2校	14校
R4	110校※	-	110校
R5	127校※	-	127校

※ R4年度から「ひろしま防災出前講座」として実施。

（ひろしまマイ・タイムライン作成支援）

ブロック	実施校	受講人数
西 西	64校	4,421人
西 東	37校	3,031人
東 部	35校	3,154人
北 部	13校	655人
合 計	149校	11,261人

※ひろしまマイ・タイムラインの作成支援に関しては、小学校を対象に実施した。洪水中心ではなく、風水害に対しての出前講座として実施。

(1) 迫り来る危険を認識した的確な避難行動のための取組

⑦避難行動に資する基盤の整備 簡易型河川監視カメラの設置

平成30年7月などの豪雨により浸水被害が発生した河川や、人口・資産の集中する河川(水位周知河川等)を中心に、令和5年度には35箇所を増設し、現在は158箇所で開催している。(CCTVカメラ21ヶ所を含む)
令和6年度以降は更なる防災情報の拡充に向け、増設していく。

- 国土交通省ホームページ「川の防災情報」にて公開している。
※CCTVカメラにおいては、「広島県河川防災情報システム」にて公開している。
- 引き続き、住民が河川防災情報を入手しやすい環境の整備に努める。

【設置例】御調川(尾道市御調町丸門田)



【画像公開例】小山田川(福山市駅家町近田)



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

③ 河川管理者等による堤防の点検・監視の実施

県管理河川における危険箇所等について現地の状況を確認し共有しておく必要があり、その対応として、出水期前の堤防点検に併せて、**危険箇所等を現地確認**することとし、**県と市町が合同で堤防点検をする区間を選定し、当該区間を市町と一緒に現地で確認**している。



堤防点検の様子（加茂川 令和5年5月）

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

毎年出水期前に広島県主催の水防工法講習会を行っています。

【令和5年度水防工法講習会】

- 実施時期 : 令和5年6月
- 場 所 : 沼田川河川防災ステーション
- 参加者 : 国、県、市町の職員

～訓練の様子～

・シート張り工法



・排水ポンプ車実演

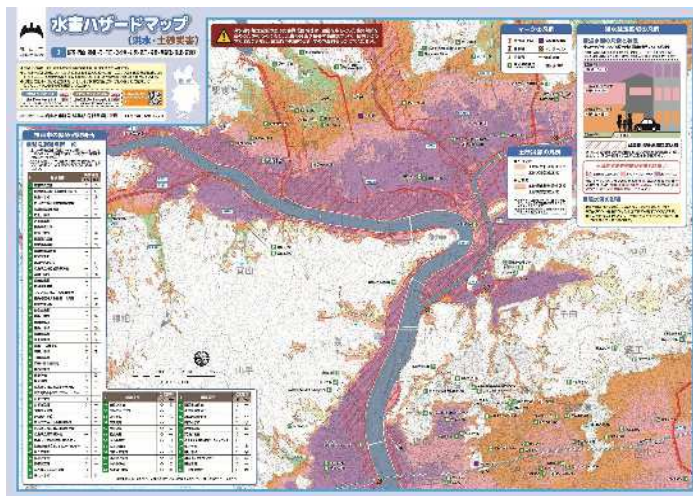


2. 各構成機関の取組状況

福山市

③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知

洪水や土砂災害による災害リスクを把握し、災害時に適切な避難行動ができるよう、土砂災害ハザードマップと洪水ハザードマップを更新、統合した水害ハザードマップを作成し、印刷物を全戸配布し、市ホームページへ説明動画の掲載等により周知を行った。



⑧ 防災教育や防災知識の普及

小中学校等を対象とした河川防災の出前講座、避難訓練等において、水害対応タイムライン、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	中学校	その他
R3	4校	1校	
R4	6校	4校	
R5	27校	4校	1校



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

福山市

① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集等広報を実施

市内大学生を対象として、よしもと芸人と連携した広報活動等を実施



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

福山市

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

芦田川河川敷において、出水期前に消防団員による規律訓練・機関員訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数 (規模)	訓練内容	時期
規律訓練・機関員訓練	消防団	消防団	759人	・規律訓練 ・機関員訓練 ・ロープ結索	出水期前



府 中 市

- ③洪水浸水想定区域図・ハザードマップの作成・周知
- ④避難計画の作成・確認

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域について、洪水ハザードマップをホームページへの掲載等により住民等へ周知、また、広報ふちゅう6月号へハザードマップによる危険場所の確認することを掲載。

「広報ふちゅう」で周知
広報6月1日号にハザード
マップの記事掲載

「ホームページ」で周知
府中市ホームページ掲載
内容

特集 大切な命を守るために今私たちができること

1 身の周りの危険箇所を知っていますか？

ハザードマップ

ハザードマップは、がけ崩れや洪水の恐れがある場所や避難する場所を地図上にまとめて示したものです。家族や地域で災害に関して話し合う際の資料として活用してください。

ハザードマップで確認すること

チェック 1 自宅とその周辺、通勤・通学経路などの危険箇所を確認し、災害リスクを把握しましょう。

チェック 2 近くの避難場所を確認し、避難場所までの安全な経路を決めておきましょう。

ハザードマップの入手方法

ハザードマップは、危機管理課で配布しているほか、市のホームページからも見るができます。

土砂災害ハザードマップ  洪水ハザードマップ 

次の地域の土砂災害ハザードマップを更新しました
出口町・府中町、元町・鞆町・桜が丘、
広谷町・中須町、本山町、土生町、用土町

ひろしま3DマップDoboX

県が運用するDoboX（ドボックス）では、災害リスク情報やインフラ情報などを3DマップやGIS上で確認できます。

GIS…位置に関するさまざまな情報を持ったデータを電子的な地図上で扱う情報システム技術の総称。

 DoboXポータルサイト

洪水ハザードマップの作成について

浸水想定区域が定められている「芦田川」や「砂川」「出口川」「御調川」などの河川の情報をもとに「洪水ハザードマップ」を作成しています。

府中市洪水ハザードマップ

1,000年に1度程度起こると想定される最大規模の降雨により洪水が発生した場合の洪水ハザードマップ

府中学園・国府・旭・南・栗生小学校区

 府中市洪水ハザードマップ(地図面) (PDFファイル: 5.4MB)

 府中市洪水ハザードマップ(情報面) (PDFファイル: 3.3MB)

府中明郷学園校区

 府中市洪水ハザードマップ(地図面) (PDFファイル: 4.5MB)

 府中市洪水ハザードマップ(情報面) (PDFファイル: 3.3MB)

100年に1度程度起こるとされる規模の降雨により洪水が発生した場合の洪水ハザードマップ

 府中市洪水ハザードマップ(地図面) (PDFファイル: 9.3MB)

⑧防災教育や防災知識の普及

小学生や、地域を対象とした河川防災の出前講座を実施し、水害ハザードマップや「ひろしまマイ・タイムライン」等を活用して、洪水時の住民の対応を周知した。

河川防災の出前講座の開催状況

年度	小学校	その他
5	府中明郷学園	
5		三郎丸町内会
5		府中老人大学

ひろしまマイ・タイムラインの作成支援

地区	参加人数	内容
行滕町	20	作成講習会
本山町	15	作成講習会
上高木	16	作成講習会
緑ヶ丘	40	作成講習会

地域や学校において防災研修会を実施
写真は府中明郷学園での出前講座の様子



(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

府中市

① 水防体制の確認・強化

消防団(水防団)員の募集、自主防災組織・企業等の参画を促すための広報を実施

備後国府まつりパレードで、消防団員の募集を呼びかけた。



④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

水害対応タイムラインを活用するなど、多様な関係機関、住民等の参加による実践的な水防訓練を実施
毎年出水期前に水害対応タイムラインや水害ハザードマップ等を活用し、避難場所や避難経路及び危険箇所などを確認するなど、住民参加による実践的な避難訓練を実施

訓練名	主体	参加者	参加人数 (規模)	訓練内容	時期
災害時図上訓練	父石町 自主防災会	・父石町自主防災会 ・こども会 ・消防団 ・防災士ネットワーク ・市	50	災害や避難情報の基礎知識を学び、洪水ハザードマップを活用した災害図上訓練を行った。	5月21日



福山河川国道事務所

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

② 水防資機材の情報共有及び相互支援

令和5年6月に「芦田川洪水予報連絡会」「芦田川水防連絡協議会」を実施し、重要水防箇所や水防資材の保管場所及び数量、災害対策機械等について情報提供。

また、重要水防箇所や水防資材については、関係機関との共同点検においても情報提供を行った。



芦田川洪水予報連絡会、
水防連絡協議会の様子
(令和5年6月30日)



福山市、消防組合との
共同点検の様子
(令和5年6月27日)

(2) 水防活動の効率化、水防体制の強化

④ 関係機関が連携した水防訓練等の実施

- ・出水期前に、水防関係機関への情報伝達等、実践的な演習により、防災体制に万全を期すことを目的とした訓練を実施し、関係機関への情報伝達として、芦田川水害タイムラインの発動やホットラインを実施した。
- ・南海トラフ巨大地震を想定した訓練を10月に実施し、関係機関への情報伝達として、ホットラインを実施した。

訓練名	主体	参加者	参加人数 (規模)	訓練内容	時期
風水害対策訓練	国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局管内事務所、自治体、関係機関等	中国地方整備局全職員、自治体及び関係機関の防災担当職員等	・災害情報共有 ・所管施設点検 ・被災状況報告 等	4/28
地震・津波対策訓練	国土交通省中国地方整備局	同上	同上	・安否確認訓練 ・非常参集訓練 ・初動体制確立訓練 等	10/26



風水害対策訓練の様子(R5.4.28)

気象台

⑥ 住民の避難行動を支援する防災情報の提供・周知

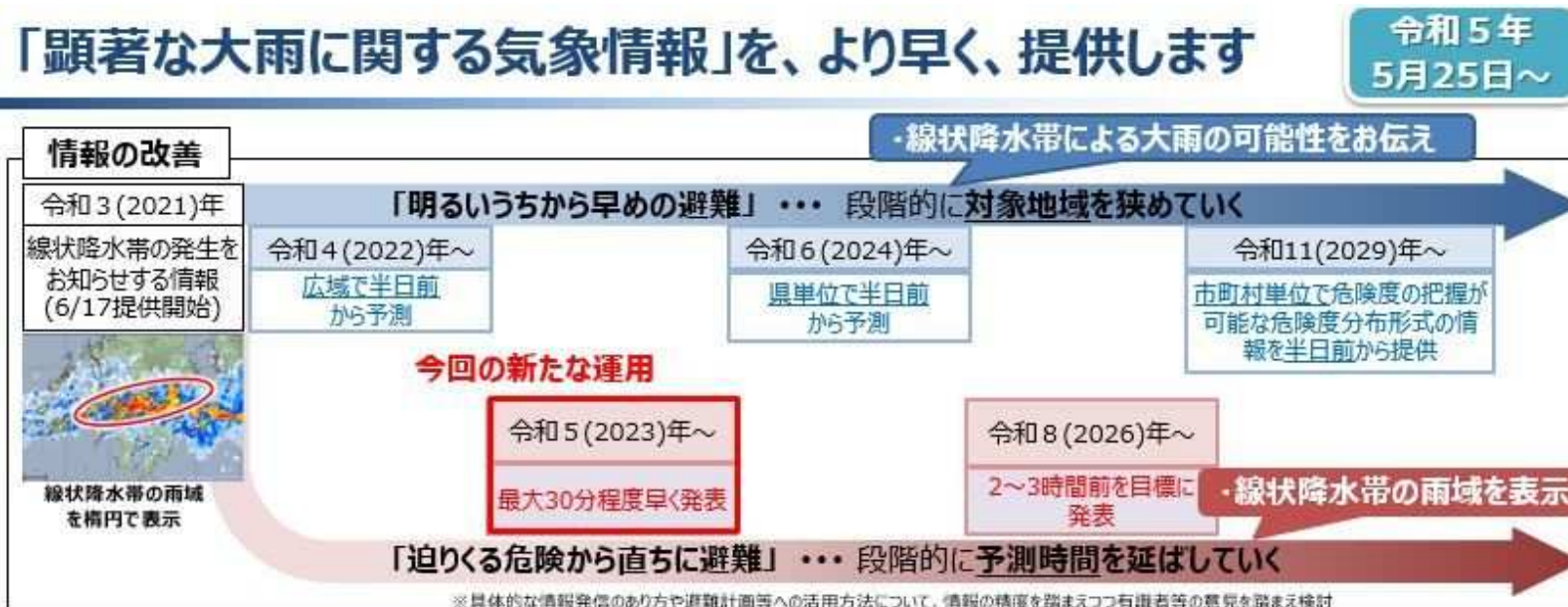
・「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の提言を受けた防災気象情報の改善及び提供

令和5年度は以下の事項について実施

- ・「顕著な大雨に関する気象情報」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)をこれまでより最大30分程度前倒しして発表する運用を開始

⑥ 住民の避難行動を支援する防災情報の提供・周知

・「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の提言を受けた防災気象情報の改善及び提供



「顕著な大雨に関する気象情報」について、現在は発表基準を実況で満たしたときに発表しているところ、予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指す。

加えて、以下のデータも提供

○楕円データ（線状降水帯の雨域）

⇒データ配信（事業者等向け）

○「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を満たした事例（線状降水帯の事例）

⇒気象庁HPの解説ページに自動掲載